

## 【資料】

## 教科種目名《音楽（一般）》

発行者の略号	教出	書名	中学音楽 音楽のおくりもの
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連			<p>教育基本法に示されている「幅広い知識や教養、豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、我が国及び諸外国の音楽から、様々な時代の曲種が取り上げられ、「日本の歌 みんなの歌」では、共通教材である日本の歌が掲載されている。</p> <p>教育基本法に示されている「心身の発達に応じて」及び「自ら進んで学習に取り組む意欲」に関連して、変声についての記載が1年生の「Let's Sing」の中で、混声合唱の学習へとつなげて取り上げられている。</p> <p>学校教育法に示されている「基礎的な知識及び技能」及び「思考力、判断力、表現力」に関連して、学習の内容が3年間を通じて、「音楽の要素をとらえながら」(基礎)「様々な音楽文化」(広がり)「歌い合わせ聴き深める喜び」(活用)の3つに題材が分けられ、各教材の冒頭にマークで示されている。</p> <p>学習指導要領の音楽科の目標に示されている「音楽に対する感性」及び「音楽活動の基礎的な能力」に関連して、学習のねらいに即した学習のポイントが、各教材の左ページに2つの文で示されている。</p> <p>学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「伝統や文化に関する教育の充実」に関連して、「日本の民謡」「箏曲」「雅楽」「歌舞伎」「能」「文楽」などの教材が取り上げられ、その歴史や内容、特徴、舞台表現などの写真が掲載されている。</p> <p>*詳細は、資料（音楽 - 3～音楽 - 4）に記載。</p>
かながわ教育 ビジョンとの 関連			<p>「思いやる力」に関連して、仲間と共に声を合わせて表現活動ができるよう、各学年に応じた合唱曲が「歌のアルバム」に掲載されている。</p> <p>「たくましく生きる力」に関連して、「With My Heart」の中で、様々な分野で活躍している人々の思いや生き方が取り上げられている。</p> <p>「社会とかかわる力」に関連して、くらしの中からはぐくまれた地域の祭りや祝い歌、仕事歌などの民謡や芸能が取り上げられている。</p>
内 容			<p>我が国で長く歌われ親しまれている、日本の美しい風景や自然を歌った教材が取り上げられ、作詞者、作曲者の紹介やメッセージが掲載されている。</p> <p>創作の学習では、「音のスケッチ」の中で、グループで話し合い、言葉やリズム、構成を工夫してリズムアンサンブルや簡単な歌をつくる活動が設けられている。</p> <p>鑑賞の学習の中で、曲を聴いて一番おもしろい・魅力的と感じた部分について紹介する文や、聴き比べて気付いたことを直接教科書に書き込める「伝えてみよう」のコーナーが設けられている。</p> <p>「どんな特徴があるのかな？」の学習では、変奏曲を例示して音楽を形づくっている要素のはたらきに注目し、気付いたことや感じ取ったことを話し合う学習活動が設けられている。</p> <p>神奈川に関連することとして、「浜辺の歌」を作詞した林古溪が幼少期を過ごした辻堂海岸の写真が掲載されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（音楽 - 6）に掲載。</p>
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁			<p>巻頭の「With My Heart」では著名な音楽家のメッセージが掲載され、前半は、「音楽の要素をとらえながら」「様々な音楽文化」「歌い合わせ聴き深める喜び」の3つの題材で構成され、後半は「歌のアルバム」の合唱集と学習資料が掲載されている。</p> <p>判型はA B判で、「この教科書は、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用しています。」「この教科書は、色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮して作られています。」と表記されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（音楽 - 7）に掲載。</p>
表記・表現			<p>巻末折り込みページには楽典が掲載され、中学校での新出用語や記号にマークが示されている。</p> <p>生徒や先生のキャラクターが吹き出しの言葉の中で、学習のポイントやヒント、アドバイスを取り上げている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（音楽 - 7）に掲載。</p>

【資料】  
教科種目名《音楽（一般）》

発行者の略号	教芸	書名	中学生の音楽
教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>教育基本法に示されている「幅広い知識や教養、豊かな情操と道徳心を培うこと」に関連して、「心の歌」として扱われる共通教材は自然を表した写真や作詞者や作曲者の言葉が掲載されている。</p> <p>教育基本法に示されている「体系的な教育」及び「自ら進んで学習に取り組む意欲」に関連して、小学校で学習した音符や記号をゲーム形式で復習できる「ピンゴゲーム」「リズムゲーム」が各学年の教科書に取り上げられている。</p> <p>学校教育法に示されている「基礎的な知識及び技能」及び「思考力、判断力、表現力」に関連して、学習内容と教材の関連を「音楽学習 MAP」に示し、音楽を形づくっている要素〔共通事項〕アとの関連を「学習の窓口」として取り上げている。</p> <p>学習指導要領の音楽科の目標に示されている「音楽に対する感性」及び「音楽活動の基礎的な能力」に関連して、目次と見開きページの冒頭に学習のねらいが記載され、各教材に関わる〔共通事項〕がマークで示されている。</p> <p>学習指導要領の教育内容の主な改善事項である「伝統や文化」に関連して、「箏曲」「尺八曲」「日本の民謡」「歌舞伎」「文楽」「日本の郷土芸能」「雅楽」「能」などの教材が取り上げられ、その歴史や内容、特徴、舞台表現などの写真が掲載されている。</p> <p>*詳細は、資料（音楽 - 3～音楽 - 4）に記載。</p>		
かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>「思いやる力」に関連して、仲間と共に声を合わせて表現活動ができるよう、各学年に応じた合唱曲が「心通う合唱」に掲載されている。</p> <p>「たくましく生きる力」に関連して、口絵の中で、日本や世界各地で行われている音楽祭や、我が国の伝統文化を紹介し、さまざまな舞台で活躍する人々が取り上げられている。</p> <p>「社会とかかわる力」に関連して、四季折々に行われる祭りなどその土地の歴史や文化、生活に根付いた郷土の音楽や民謡などに親しむ教材が取り上げられている。</p>		
内 容	<p>我が国で長く歌われ親しまれている、日本の美しい風景や自然を歌った教材が「心の歌」として取り上げられ、作詞者、作曲者の紹介やメッセージが掲載されている。</p> <p>創作学習では、「My Melody」の中で言葉や音階の特徴から旋律をつくる活動や、「Let's Create!」の中で、グループでイメージを話し合いながら音楽をつくる活動が設けられている。</p> <p>鑑賞では、〔共通事項〕と関連させながら、聴き取り感じ取ったことをプレゼンテーションする学習活動が設けられている。</p> <p>「ここがわかれば Grade Up」で、音楽を形づくっている要素をヒントに考える学習活動が設けられている。</p> <p>神奈川に関することとして、三崎の「チャッキラコ」「箱根馬子唄」の教材が取り上げられている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（音楽 - 6）に掲載。</p>		
構 成 ・ 分 量 ・ 装 丁	<p>口絵では、「静けさと日本の音」「世界に誇る日本の宝物」などが掲載され、前半は表現、鑑賞、後半は「心通う合唱」の合唱集と学習資料で構成されている。</p> <p>判型はA B判で「ユニバーサルデザイン」への取り組み・全ての生徒の色覚特性に適應することを目指してデザインしています。・特別支援教育の視点から、学習上重要な情報を確実に読み取れるようにしています。」と表記されている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（音楽 - 7）に掲載。</p>		
表記・表現	<p>「音楽学習 MAP」に各教材で扱う共通事項を表す学習の窓口が示されている。</p> <p>生徒や先生のキャラクターが吹き出しの言葉の中で、学習のポイントやヒント、アドバイスを取り上げている。</p> <p>*詳細のデータは、資料（音楽 - 7）に掲載。</p>		

【資料】  
教科種目名【音楽（一般）】

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

教育基本法第2条及び第6条第2項の内容

第2条 一 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うこと。

教出	1年生から3年生で歌える全校合唱「故郷」が「歌のアルバム」で掲載されている。「日本の歌 みんなの歌」として扱われる歌唱共通教材では、自然の情景を表した写真や、作品に対する作者のメッセージが「A Message For You」に掲載されている。「With My Heart」では、著名な音楽家からの曲に込められた思いをつづったメッセージが記載されている。
教芸	「歌い継ごう日本の歌」の中で、1年生から3年生で歌える全校合唱「ふるさと」や、「夕焼小焼」、「夏は来ぬ」が掲載されている。「心の歌」として扱われる歌唱共通教材は、自然を表した写真や作詞者や作曲者の言葉が掲載されている。また、口絵では、日本や世界各地で行われている音楽祭や、我が国の伝統文化を紹介している。

二 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うこと。

教出	「音のスケッチ」の中で、グループで話し合い、言葉やリズム、構成を工夫して、リズムアンサンブルや簡単な歌をつくる創作活動が設けられている。また、発展学習として「音ってなあに？」や「音の三要素」で、自然音や環境音について掲載されている。「私たちのくらしと音楽」では、音楽を生かせる職業を紹介している。
教芸	「My Melody」や「Let's Create!」の中で、民謡の音階や歌詞の抑揚を生かした旋律の創作や、リズムアンサンブルづくりが掲載されている。また、発展的学習として、口絵で、環境音について紹介したり、中学生によって上演される歌舞伎の舞台や、上演にむけての様々な取組の様子を取り上げている。

三 正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うこと。

教出	「コンピュータと音楽」や「わたしたちのくらしと音楽」では、音楽著作権とインターネットについて取り上げられ、「なぜ著作権は法律で保護されるの？」が記載されている。また「Let's Try」の「郷土の民謡や芸能をしらべてみよう」では、郷土の祭りや芸能がたくさんの人々によって生まれ受け継がれていることが記載されている。
教芸	「ルールを守って音楽を楽しもう!」では、著作権について取り上げられ、音楽やCDが生み出されるしくみやルールを守る必要性が記載されている。オペラの鑑賞曲の学習では、歌手やオーケストラのほか、大勢の人がそれぞれの立場で自分の役割を果たしながら、一つのものをつくり上げていくことが記載されている。

四 生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うこと。

教出	全学年共通に設定された「日本の歌 みんなの歌」を中心に、生命や自然を歌う共通教材が取り上げられて、日本の風景や自然の写真が見開きで2ページにわたって掲載されている。また、「わたしたちのくらしと音楽」では、震災後の「アウトリーチ」や「音楽療法」など音楽の可能性について記載されている。
教芸	1年生から3年生を通して、共通教材「こころの歌」を中心に生命や自然を歌う教材曲が取り上げられている。また、日本の風景や自然の写真、生き物の写真が掲載されている。「静けさと日本の音」では鐘や山寺の写真を例に、環境音楽について記載されている。

五 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

教出	総合芸術である歌舞伎や能、文楽やオペラ、バレエの学習では、舞台表現などの写真が掲載され、物語の内容や音楽の特徴について記載されている。また、郷土の民謡や芸能を調べるコーナーが設けられている。「日本とアジアをつなぐ音」「日本と世界をつなぐ音」「くらしとともにあるさまざまな音」を鑑賞として取り上げている。「日本と西洋の音楽の歩み」として日本と西洋の音楽年表が掲載されている。
教芸	総合芸術であるオペラや歌舞伎、能、文楽の様々な舞台場面の写真を掲載して、その特徴や音楽、あらすじなどが記載されている。また、日本各地に伝わる民謡や、自分たちの郷土の民謡を調べたり、歌ったりするなどの学習活動が設けられている。「アジアの諸民族の音楽」「世界の諸民族の音楽」を鑑賞として取り上げている。「耳でたどる音楽史」として日本と西洋の音楽年表が掲載されている。

第6条 2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の心身の発達に応じて、体系的な教育が行わなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な規律を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視して行わなければならない。

教出	全学年、「Let's Try!」の中で、「指揮をしてみよう」のコーナーが設けられている。巻末折り込みページの楽典には教科書の中で取り扱っている中学校で新しく習う用語や記号にマークが示されている。また、3年間を通してリコーダー運指表・コードネーム表が掲載されている。1年生の「Let's Sing」で、変声について取り上げられている。
教芸	「指揮をしてみよう」では、3年間を通してコーナーが設けられている。巻末資料には楽典のまとめとしての「音楽の約束」や、我が国や諸外国の音楽の資料が記載されている。また、小学校で学習した音符や記号をゲーム形式で復習できる「ピングゲーム」「リズムゲーム」が各学年の教科書に取り上げられている。1年生の教科書では声の出るしくみや変声期について掲載されている。

## 学校教育法第46条の内容

第46条 前項の場合においては、生涯にわたり学習する基盤が培われるよう、基礎的な知識及び技能を習得させるとともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくみ、主体的に学習に取り組む態度を養うことに、特に意を用いなければならない。

教出	学習の内容が3年間を通じて、「音楽の要素をとらえながら」（基礎）、「様々な音楽文化」（広がり）、「歌い合わせ聴き深める喜び」（活用）の3つに題材が構成されている。各見開きページ左上には、題材名がマークで示され、学習のねらいが2つの文で記載されている。〔共通事項〕イにあたる新出の用語や記号はページの右上に表記されている。また、鑑賞の学習の中で「どんな特徴があるかな？」が3年間を通じて設けられ、音楽を形づくっている要素〔共通事項〕アを知覚感受し、お互いに伝え合う学習活動が取り上げられている。
教芸	学習内容と教材の関連を「音楽学習MAP」に示し、音楽を形づくっている要素〔共通事項〕アとの関連を「学習の窓口」として取り上げている。また、目次と見開きページの冒頭に学習のねらいが記載され、各教材に関わる〔共通事項〕がマークで示されている。「ここが分かればGrade up!」では、〔共通事項〕と関連付けた学習活動が設けられている。鑑賞の学習では、〔共通事項〕と関連させながら、知覚感受した内容をプレゼンテーションする学習活動が取り上げられている。

## 学習指導要領の教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。

教出	学習のねらいに即した学習のポイントが、各教材の左ページに2つの文で示され、歌唱共通教材は目次にマークで表示されている。「どんな特徴があるのかな？」の学習では、変奏曲を例示して音楽を形づくっている要素のはたらきに注目し、気付いたことや感じ取ったことを話し合う学習活動が設けられている。「Let's Sing!」では、歌うためのワンポイント・アドバイスや発音や変声、混声合唱についての記載があり、教材曲「こげよマイケル」を通して、混声合唱についての学習が記載されている。3年間を通して「歌のアルバム」で、各学年に応じた合唱曲が掲載されている。
教芸	学習のねらいや学習活動のポイントが、各教材の紙面左上と冒頭に二ヶ所記載され、共通教材や各教材に関わる〔共通事項〕がマークで示されている。また、「ここがわかればGrade Up」で、音楽を形づくっている要素をヒントに考える学習活動が設けられている。「My Voice」では、発声や表現の仕方などについての記載がある。教材曲「パフ」を通して、変声と混声合唱についての学習が記載がされている。3年間を通して「心通う合唱」で、各学年に応じた合唱曲が掲載されている。

## 学習指導要領の主な改善事項に関連する内容

### 言語活動の充実

教出	創作領域では、「音のスケッチ」でグループで話し合い、言葉やリズム、構成を工夫してリズムアンサンブルや簡単な歌をつくる学習活動が設けられている。鑑賞領域では、曲を聴いて一番おもしろい・魅力的と感じた部分について紹介する文を書いたり、聴き比べて気付いたことをメモしたり、気に入った楽章を選んで、その理由を述べたりする学習活動が設けられている。また、直接教科書に書き込める「伝えてみよう」のコーナーが設けられている。
教芸	創作領域では、「My Melody」で言葉や音階の特徴から旋律をつくる活動や、「Let's Create!」でグループでイメージを話し合いながら音楽をつくる活動が設けられている。鑑賞では、特徴や曲のよさ、感じ取ったことをメモをし、それをお互いにプレゼンテーションすることで相手に伝える学習活動が設けられている。また、直接教科書に書き込めるようなワークシートが設けられている。

### 伝統や文化に関する教育の充実

教出	「日本の民謡」「箏曲」「雅楽」「歌舞伎」「能」「文楽」などの教材が取り上げられ、その歴史や内容、特徴、舞台表現などの写真が掲載されている。「Let's Try!」の中で、これらの鑑賞の体験コーナーが設けられていて、歌唱などの表現活動につなげている。また、折り込みページや「日本とアジアをつなぐ音」「日本と世界をつなぐ音」「くらしと共にあるさまざまな音楽」の中で、日本や諸外国の音楽、楽器、民謡、祭り、芸能についての写真と解説が掲載されている。
教芸	「箏曲」「尺八曲」「日本の民謡」「歌舞伎」「文楽」「日本の郷土芸能」「雅楽」「能」などの教材が取り上げられ、その歴史や特徴が記載されている。これらの鑑賞学習の中で、声の出し方や楽器の合わせ方に着目して聴き取るめあてが示され、歌唱表現につなげている。また、巻末には、「歌舞伎」の見得・六法と舞台、「文楽」の人形の遣い方と舞台について、また「能」の面や舞台、能の影響を受けた諸芸能などについて写真とともに解説されている。また、特集「国境を越えて影響し合う音楽」では、明治維新以後の日本の音楽の変容が写真とともに掲載されている。

### 道徳教育の充実

教出	「コンピュータと音楽」や「わたしたちのくらしと音楽」で著作権について記載されている。「音のスケッチ」では、グループで話し合い、協力しながら創り上げる学習活動が設けられている。
教芸	特集「ルールを守って音楽を楽しもう!」では聴いたり演奏したりする時の著作権などについてが記載されている。「Let's Create!」では、グループに分かれ、イメージや構成を話し合いリズムアンサンブルを創作する活動が設けられている。

### 体験活動の充実

教出	「Let's Try」では、3年間を通して「指揮をしてみよう」の活動が設けられている。また、「こきりこ節」をこきりこを打ちながら歌ったり、「能」の謡の体験や、「歌舞伎」の「見得」「ツケ」「囃子」の体験、和楽器の「箏を弾いてみよう」などの体験活動が設けられている。
教芸	「指揮をしてみよう!」では、3年間を通して表現学習活動が設けられて、指揮の方法が図で解説されている。鑑賞学習からは、実際にソーラン節を歌ってみたり、長唄「勸進帳」を唄ってみたり、能「羽衣」の詞章を謡ってみたりする学習活動が設けられている。

## 2 かながわ教育ビジョンとの関連

[ 思いやる力 ] 他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。

( 共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、男女平等教育、道徳教育など )

教出	全学年共通に設定された「日本の歌 みんなの歌」を中心に、生命や自然を歌う共通教材が取り上げられて、日本の風景や自然の写真が見開きで2ページにわたって掲載されている。また、それぞれの声を聴き合い、心を合わせて表現できる合唱曲が「歌のアルバム」に掲載されている。
教芸	「心の歌」として扱われる共通教材では、日本の風景や自然を表した写真や作詞者や作曲者の言葉が掲載されている。「心通う合唱」では、それぞれのパートの役割を感じ取り、それにふさわしい歌い方を工夫して、みんなでつくりあげる喜びを味わう合唱曲が掲載されている。

[ たくましく生きる力 ] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。

( 公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力など )

教出	「With My Heart」の中で、様々な分野で活躍している人々の思いや生き方が取り上げられている。創作領域では、「音のスケッチ」でグループで話し合い、言葉やリズム、構成を工夫してリズムアンサンブルや簡単な歌をつくる学習活動が設けられている。鑑賞領域では、曲を聴いて一番おもしろい・魅力的と感じた部分について紹介する文を書いたり、聴き比べて気付いたことをメモしたり、気に入った楽章を選んで、その理由を述べたりする学習活動が設けられている。また、直接教科書に書き込める「伝えてみよう」のコーナーが設けられている。
教芸	口絵の中で、日本や世界各地で行われている音楽祭や、我が国の伝統文化を紹介し、さまざまな舞台で活躍する人々が取り上げられている。創作領域では、「My Melody」で言葉や音階の特徴から旋律をつくる活動や、「Let's Create!」でグループでイメージを話し合いながら音楽をつくる活動が設けられている。鑑賞では、特徴や曲のよさ、感じ取ったことをメモをし、それをお互いにプレゼンテーションすることで相手に伝える学習活動が設けられている。また、直接教科書に書き込めるようなワークシートが設けられている。

[ 社会とかかわる力 ] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献できる力を育てる。

( 生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動など )

教出	それぞれのくらしの中からはぐくまれた祭りや祝い歌、仕事歌など日本各地の多彩な民謡や芸能が取り上げられている。また、発展学習として「音ってなあに？」や「音の三要素」で、自然音や環境音について掲載されている。「私たちのくらしと音楽」では、音楽を生かせる職業を紹介している。
教芸	四季折々に行われる祭りなどその土地の歴史や文化、生活に根付いた郷土の音楽や民謡などに親しむ教材が取り上げられている。口絵では、環境音について紹介したり、中学生によって上演される歌舞伎の舞台や、上演にむけての様々な取り組みの様子を取り上げている。

3 内容

		調査研究項目	教出			教芸		
			1年	2・3年上	2・3年下	1年	2・3年上	2・3年下
1	表現（歌唱）	表現（歌唱）を扱っている曲数	21	21	21	24	22	19
2		斉楽曲	4	5	8	5	5	6
3		合唱曲	16	16	13	18	17	12
4		諸外国の音楽の曲数	2	2	4	4	1	3
5		世界の諸民族の音楽の曲数	0	0	0	0	2	2
6		歌唱共通教材の扱い	2	3	2	2	2	3
7		伝統的な歌唱曲数（民謡・長唄・謡曲・義太夫節・地歌・箏曲）	1	1	2	1	1	1
8		階名を扱っている曲数	0	0	0	3	2	0
9		歌詞の内容や言葉の表現について取り上げている箇所数	6	9	14	7	7	8
10		呼吸及び発音・発声・姿勢について取り上げている箇所数	5	0	0	2	3	3
11		変声への配慮について取り上げられている箇所数	1	0	0	1	0	0
12	（創作表現）	表現（創作）を扱っている箇所数	3	3	2	2	2	2
13	鑑賞	鑑賞を扱っている曲数	61	38	87	63	23	100
14		歌唱曲数	30	8	19	52	9	18
15		器楽曲数	31	25	47	11	10	54
16		総合芸術（歌舞伎・能楽・オペラ・バレエ等）	0	5	21	0	4	28
17		諸外国の音楽の曲数（古典～現代）	6	20	60	8	7	64
18		世界の諸民族の音楽の曲数	9	6	4	4	9	5
19		我が国や郷土の伝統音楽を扱っている曲数（雅楽・能楽・琵琶楽・歌舞伎・箏曲・三味線・尺八音楽・民族・民俗芸能など）	46	12	23	51	7	31
20		歴史や文化について扱っている箇所数	25	27	32	20	31	32
21		演奏楽器について説明のある箇所数	9	17	7	9	4	8
22	共通事項	楽曲と関連付けて共通事項ア（音楽を形づくっている要素）音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成	適	適	適	適	適	適
23		共通事項イ（音楽にかかわる用語）	26	24	19	26	23	21
24	全体	表現と鑑賞との関連が図られている箇所数	2	3	1	1	2	2
25		活動のめあてが明記されている箇所数	22	20	19	25	27	25
26		作詞・作曲者を紹介している箇所数	7	10	6	8	7	12
27		表現方法や表現形態の選択の工夫が扱われている箇所数	17	22	18	19	17	13
28		他の教科等（道徳）との関連のある箇所数	0	1	1	0	0	1
29		身体的表現活動を扱っている箇所数	1	3	1	2	1	1
30		言語活動やコミュニケーションを図る活動を取り入れている箇所数	7	5	5	6	5	4
31		音環境（自然音や環境音）を扱った箇所数	1	1	2	3	0	0
32		コンピューターや教育機器を扱った箇所数	1	3	2	0	0	1
33		知的財産権について扱っている箇所数	0	1	1	0	0	1
34		神奈川県に関連のある曲・記述箇所数	0	1	2	1	2	0
		表記の内容	2, 3上 「浜辺の歌」辻堂海岸の写真2種類 2, 3下 「花」滝廉太郎の育った地、横浜 「日本と西洋の音楽の歩み」 ノヴェンバーステップスの演奏 （神奈川フィルハーモニー管弦楽団）			1年 箱根馬子歌 2, 3上 チャッキラコ		
35		発展的な学習内容を取り扱っている箇所数	1	1	1	3	5	2

4 構成・分量・装丁

調査研究項目	教出			教芸		
	1年	2・3年上	2・3年下	1年	2・3年上	2・3年下
表現（歌唱）を扱ったページ数	41	41	36	45	42	41
表現（創作）を扱ったページ数	6	6	4	4	4	4
鑑賞を扱ったページ数	27	30	20	18	21	20
楽典を扱ったページ数	3	3	3	6	3	1
音楽史を扱ったページ数	0	0	10	0	0	6
その他のページ数	19	16	23	17	20	18
学年ページ数	96	96	96	90	90	90
27年度版との比較	+12%	+12%	+12%	+10%	+10%	+10%
総ページ数	288			270		
27年度総ページ数	258			246		
27年度版各学年ページ数	86	86	86	82	82	82

調査研究項目	教出			教芸		
	1年	2・3年上	2・3年下	1年	2・3年上	2・3年下
我が国の伝統音楽・長く歌われ親しまれている歌曲・和楽器を扱ったページ数	26	27	30	20	23	32
27年度版との比較	+18%	+20%	+7%	+25%	+35%	+33%
27年度我が国の伝統音楽・長く歌われ親しまれている歌曲・和楽器を扱ったページ数	22	22.5	28	16	17	24

領域他	教出			教芸		
	1年	2・3年上	2・3年下	1年	2・3年上	2・3年下
表現（歌唱）の割合	43%	43%	38%	50%	47%	46%
表現（創作）の割合	6%	6%	4%	4%	4%	4%
鑑賞の割合	28%	31%	21%	20%	23%	22%
その他の割合	23%	20%	38%	26%	26%	28%

5 表記・表現

調査研究項目	教出			教芸		
	1年	2・3年上	2・3年下	1年	2・3年上	2・3年下
楽譜の表記・大きさ	適			適		
写真・絵・図表数	184	199	230	161	164	207
文章表現や漢字・かなづかい・用語・記号・計量単位・図版などの使用	適	適	適	適	適	適
文字の大きさ・字間・行間・書体など	適	適	適	適	適	適
文章・図版などの割付け	適	適	適	適	適	適